

第2回石見神楽保存・伝承拠点基本構想検討委員会議事録

1 開催概要

日 時 令和7年7月11日(金) 18:30~20:25

場 所 浜田市立中央図書館 多目的ホール

出席者 別紙名簿のとおり

2 議事次第

(1) 会長挨拶

(2) 報告事項

- ① 基本構想策定支援業務委託について
- ② 第1回検討委員会における主な意見について【資料1】
- ③ 浜田市議会石見神楽振興議員連盟からの主な意見について【資料2】
- ④ その他
 - ア 大阪・関西万博での石見神楽公演について
 - イ 「石見神楽を創り出したまち浜田」について

(3) 協議事項

- ① グループワーク【資料3】
 - ステップ①「拠点を通して何を指すのか(目的)」
 - ステップ②「目的達成に向けて、どんな機能が必要かを考えて提案する」

3 議事録

(1) 会長挨拶

豊田会長より挨拶。内容は以下のとおり。

豊田会長	お忙しいところお集まりいただきまして、ありがとうございます。大阪・関西万博に参加された方も多くいると思います。私は参加することは出来ませんでしたが、新聞等で盛り上がったということを見ておりますし、後程、参加された方からお話をいただけるとのことで楽しみにしております。今回からはグループに分かれて意見を出していただくこととしておりますので、是非、皆さんの意見を出していただき集約していきたいと思っております。
------	---

(2) 報告事項

- ① 基本構想策定支援業務委託について
- ② 第1回検討委員会における主な意見について【資料1】
- ③ 浜田市議会石見神楽振興議員連盟からの主な意見について【資料2】

事務局よりレジュメ・資料に基づき説明。
- ④ その他
 - ア 大阪・関西万博での石見神楽公演について

第2回石見神楽保存・伝承拠点基本構想検討委員会議事録

小川委員	<p>検討委員会の委員も当日プレーヤーとしてたくさんの方が参加されたと思います。万博での石見神楽ということで未来を見据えたものが要求されたと思います。私は大蛇の大太鼓を行いました。神迎、大江山、恵比須、大蛇の演目を各地域の特色を生かし、それぞれの団体が精一杯、演技されているのを見て涙が出そうになりました。大蛇で大太鼓をしているときに客席を見ると涙を流している人がいました。普段、年配の方が泣いているのは見たことがありましたが、若い世代も涙を流している方がおられ、神楽を通じて地域を発信し、伝統芸能として良いことができたと自負しています。伝統としての部分とは少し離れた部分もありましたが、伝統を活用してあのような大舞台に立つことは神楽の担うべき部分でもあると思います。元々の神楽の意味として、奉納神楽であろうが何であろうが、その日できる一番の芸をもって、神や人を楽しませたり、感動させたりすることがあると思います。あのような場で神楽を披露することも神楽の持つ一つの大事な要素であり、また、地域に光を当てる、地域を活性化させるということは我々舞い手にとって大事なことであったと思います。</p> <p>ものづくりの展示ブースの中に植田さん、川邊さん、柿田さんがおられ、皆さん長浜地域の方ですが、同じ地域に工房がありながら、蛇胴、衣裳、面の職人が一堂に介しているのはめずらしいことであると思ひ、神楽の横のつながりを感じました。また、浜田市から全ての神楽団体に声掛けをいただき、オール浜田という形をとれたことが非常に尊いと思ひました。神楽は普段は自分たちの伝統を駆使して喧々譁々とするのも大切ですが、これからは助け合うことが大事だと思ひました。各団体、人数の制約があり全員は出ることができませんでしたが、もっと若い人にこういったことを経験してもらって神楽に誇りをもって、後世につないでいってほしいと思ひました。</p>
柿田委員	<p>私は、当日は会場の出口付近にある展示ブースにいました。私は、あえて練習の見学には1度も行かず、その状態で本番を観させてもらいましたが、一言で言うなら度肝を抜かれました。会場にいる人に話を聞いても、度肝を抜かれたとか、感動したとかいった声をいただきましたし、涙を流している人もおられました。大阪の土地柄として和太鼓のグループが各地にあるところなので、奏楽にも興味を持たれていて、太鼓や笛のことも聞かれることがありました。神楽の笛はリコーダー式の神楽笛で、本笛を吹こうと思えば吹けるが、一晩中吹けるように神楽笛を使っているというようなことを説明すると皆さん感心しておられました。一番何に感動したかという、今回は普段やっていることではなくて、これまで観たことも無いようなものを見せつけたというのが凄いいことであつたのではないかと思ひました。</p>

第2回石見神楽保存・伝承拠点基本構想検討委員会議事録

	<p>います。新しいことも、何でもできるような建物が必要なのではないかと改めて感じました。万博のステージを小さくしたような音響・照明も入ったステージというようなものが求められているのではないかと思います。今日、万博の関連の新聞記事を持ってきましたが、浜田の石見神楽はこれだけの人を集めることができます。ということは、神楽があれば浜田に人が来ます。そうすると神楽だけでなく、飲食とか宿泊とかにつなげていけるきっかけもなると思います。先週の新聞のコラム欄に、益田市の方が浜田の石見神楽を称えている生地がありましたが、これにも感動しましたし、そう思わせた浜田市の神楽団体に頭が下がると思っています。</p>
--	--

また、浜田市議会石見神楽振興議員連盟の2025大阪・関西万博石見神楽公演視察報告について事務局より当日資料1に基づき説明

イ 「石見神楽を創り出したまち浜田」について
小川委員より当日資料2に基づき説明

(3) 協議事項

① グループワーク【資料3】

事務局より資料3に基づきグループワークの進め方について説明し、各グループにて意見交換を行った。意見等の概要は別紙のとおり。

事務局より事務連絡

事務局	<p>・次回検討委員会の案内 日時：8月8日（金） 18時30分～ 場所：浜田市立中央図書館</p>
-----	--

テーマ「拠点のあり方、必要な機能について」

あり方	必要な機能
①後継者の確保・育成	<ul style="list-style-type: none"> ・舞や奏楽などを体験できる【体験機能】⇒③の市民の誇りの醸成に移行することを検討 ・各神楽団体の情報を得ることができる【情報発信機能】⇒③の市民の誇りの醸成に移行することを検討 ・ものづくりの体験や見学をすることができる【体験機能、学習機能】⇒③の市民の誇りの醸成に移行することを検討 ・舞の練習ができる【舞殿機能】 ・ものづくりの作業を観ることができる（出張工房）
②保持演目の伝承	<ul style="list-style-type: none"> ・舞の練習や上演ができる【舞殿機能】⇒①の後継者育成に移行することを検討 ・夜明け舞を行うことができる【舞殿機能】⇒①の後継者育成に移行することを検討 ・舞（動き）をデジタル化し、複製することができる【調査・研究機能】
③市民の誇りの醸成	<ul style="list-style-type: none"> ・石見神楽や神楽産業の歴史や変遷を学ぶことができる【学習機能、展示機能】 ・石見神楽についてわかりやすく学ぶことができる【学習機能、展示機能】 ・神楽に触れるきっかけづくり ・そこに行けば神楽の全てがわかる
④石見神楽の魅力を広く伝播	<ul style="list-style-type: none"> ・市内の神楽関連施設でのイベント等の情報が相互に発信ができる【情報発信機能】 ・誘客のための企画運営を充実できる【情報発信機能】 ・最新のデジタル技術（照明・プロジェクションマッピングなど）を駆使して感動を演出できる ・ストーリーを分かりやすく伝える ・いつでも神楽に触れることができる ・舞殿（野外など大人数に対応できる、飲食も可、ステージの舞でなく祭りの舞を見せることができる、新しいことに挑戦できるし一方で伝統的な舞もできる、照明や音響の使い方も学ぶことができる）
⑤用具等の散逸の防止	<ul style="list-style-type: none"> ・散逸する可能性がある神楽の用具等を保存・収蔵することができる【収蔵機能】 ・収蔵庫も見学することができる。 ・展示物の何倍ものサイズの収蔵庫が必要。
⑥調査・研究の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・研究材料が身近にあり、効率的に研究できる【展示・収蔵機能】 ・石見神楽のルーツや関連するモノ・コト・ヒトの文化的価値を検証することができる【調査・研究】 ・全国の神楽と石見神楽の比較・違いの説明ができる。

<p>神楽団体同士や神楽団体と市民、地域との連携・交流・マッチング</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 神楽団体が情報を得ることができる ・ 「オール浜田」としての取組ができる ・ コーディネートできる人材の配置 ・ 神楽団体の団員募集などができる ・ 雇用を生むことができる ・ 市内の温泉、宿泊施設、飲食店との連携 ・ 神楽を語る場としての拠点
---------------------------------------	--

【その他の意見】

- ・ 「①後継者育成の確保・育成」と「②保持演目の伝承」は、延長線上にあるため、分けなくても良い。
- ・ これから神楽に触れる人への「普及」と既に神楽をしている人の「人材育成」のどちらに力を入れるのか整理が必要。
- ・ 観光の機能と文化の機能を一体的に考える必要がある。
- ・ 必ずしも調査研究の専門職員は拠点に配置しなくともよいのではないか。
- ・ ワクワクするものを作らないといけない。
- ・ 大事なものは「舞の伝承」「文化の伝承」「情報発信」の3つであり、その中にこのあり方が入っているイメージである。
- ・ 神楽産業の技術を生かした商品開発も必要
- ・ この施設がある程度お金を生み出し、維持していけることが重要。
- ・ 「地域との連携」ができれば、それが「①後継者育成の確保・育成」「③市民の誇りの醸成」「④石見神楽の魅力を広く伝播」につながっていく。